平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月13日

上場会社名　第一屋製パン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　2215　URL　http://www.daiichipan.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 細貝　理栄
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役コーポレート本部長兼経理部長　(氏名) 細貝　正統　TEL 042-344-7601
四半期報告書提出予定日　平成25年8月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	12,321	△1.6	244	—	305	—	397	—
24年12月期第2四半期	12,519	△7.8	△208	—	△147	—	△220	—

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　509百万円　(—%)　24年12月期第2四半期　△179百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	5.74	—
24年12月期第2四半期	△3.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	19,231	8,082	41.5
24年12月期	19,519	7,585	38.3

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　7,981百万円　24年12月期　7,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00			
25年12月期(予想)			—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	△1.2	100	—	200	—	40	—	0.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 有
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年12月期2Q	69,299,000 株	24年12月期	69,299,000 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	58,831 株	24年12月期	57,038 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年12月期2Q	69,241,009 株	24年12月期2Q	69,243,385 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策への期待から株価の上昇、円高の是正が見られ、景気回復の兆しが見え始めました。しかしながら、欧州の財政問題や新興国経済の成長鈍化を背景に、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界では、消費者の低価格志向が継続する一方で、円安の影響による輸入原材料の価格上昇などもあり、厳しい状況が続いております。

このような環境下、当グループでは基本方針に「全員の力で黒字化達成！」と「ルールの確認と徹底！」を掲げ、長年の赤字体質からの脱却と早期の営業黒字化に向けて取り組んでまいりました。３年前より導入を始めた、ＴＰＳ（Toyota Production System：トヨタ生産方式）活動の成果が定着し始めたことにより、品質の安定化と生産効率の改善が進みました。また、営業戦略・販売戦略を営業員の一人ひとりまでに徹底することで、売上と利益の確保に努めました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間のパン部門の売上高は9,486百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ216百万円の減収、和洋菓子部門の売上高は1,798百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ18百万円の増収、その他の売上高は1,036百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ０百万円の増収となりました。よって、当第２四半期連結累計期間の売上高は12,321百万円と前第２四半期連結累計期間に比べ197百万円の減収、前第２四半期連結累計期間比1.6％の減となりました。

また、当第２四半期連結累計期間の営業損益は、粗利益優先の営業方針の徹底のもと、値引率・原価率の管理強化に努めたこと等により244百万円の利益（前年同四半期は208百万円の営業損失）を計上し、経常損益につきましては、賃貸収入など営業外収益が155百万円で支払利息など営業外費用95百万円を計上した結果305百万円の利益（前年同四半期は147百万円の経常損失）、四半期純損益は固定資産売却益151百万円などにより397百万円の利益（前年同四半期は220百万円の四半期純損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ288百万円減少し、19,231百万円となりました。負債につきましては、短期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ785百万円減少し、11,149百万円となりました。また、純資産は、四半期純利益などにより前連結会計年度末に比べ496百万円増加し、8,082百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ883百万円増加し、2,285百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動の資金収支は、仕入債務の減少100百万円などを計上しましたが、税金等調整前四半期純利益456百万円、減価償却費331百万円、売上債権の回収109百万円などにより543百万円の資金を得ることができました。

なお、前第２四半期連結累計期間に比べ247百万円の収入の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動の資金収支は、賃貸固定資産の売却による収入1,389百万円、有形固定資産の取得による支出128百万円などにより1,254百万円の収入となりました。

なお、前第２四半期連結累計期間に比べ1,268百万円の収入の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動の資金収支は、借入金の返済額822百万円などにより920百万円の支出となりました。

なお、前第２四半期連結累計期間に比べ392百万円の支出の増加となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現時点において、平成25年２月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（機械及び装置の減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社における機械及び装置の減価償却方法について、従来、定率法を採用しておりましたが、第１四半期連結累計期間より定額法に変更いたしました。

この変更は、当グループの経営環境が厳しさを増す中で、平成25年１月より、新たな経営目標を再構築し、収益構造の見直しとして収益改善３カ年計画を策定したことを契機に、設備投資の方針を見直した結果、今後の設備投資は既存設備の維持更新投資が中心となり、長期安定的に稼働する状況が見込まれるため、耐用年数にわたり均等償却により費用配分を行うことが、機械及び装置の実態をより適切に反映できるものと判断したこと、また、グループの会計方針を統一するため、従来の償却方法を見直し定額法を採用することにいたしました。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ80百万円増加しております。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

継続的な営業損失について

当グループの業績は長きにわたり継続して営業損失を計上しておりましたが、当第２四半期連結累計期間（平成25年１月１日～平成25年６月30日）においては、粗利益優先の営業方針の徹底のもと、値引率・原価率の管理強化に努めたこと等により営業利益を計上しました。しかしながら、個人消費の低迷、低価格志向等により同業他社との価格競争が厳しくなることや、円安による原材料・燃料の価格上昇の影響も懸念され、厳しい経営環境が継続するものと予想されますので、引き続き企業経営に影響を与える重要事象等が存在しております。

資金面につきましては、当面の運転資金については充分に確保されております。また、収益面につきましても、長年の赤字体質から脱却するために、業績早期改善計画に従った各諸施策を確実に実行し、収益構造の変革を達成する所存であります。

これにより、平成25年度（平成25年１月１日～平成25年12月31日）においても、黒字転換を図る所存であります。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,491	2,374
受取手形及び売掛金	3,288	3,179
商品及び製品	58	82
仕掛品	30	23
原材料及び貯蔵品	302	252
繰延税金資産	20	40
未収入金	94	234
その他	130	126
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	5,408	6,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,884	2,806
機械装置及び運搬具（純額）	2,587	2,574
工具、器具及び備品（純額）	158	146
土地	2,451	2,451
リース資産（純額）	485	426
建設仮勘定	12	9
有形固定資産合計	8,578	8,414
無形固定資産	98	90
投資その他の資産		
投資有価証券	743	912
賃貸固定資産（純額）	4,556	3,379
その他	138	127
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	5,434	4,415
固定資産合計	14,111	12,921
資産合計	19,519	19,231

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	929	829
短期借入金	5,400	4,558
リース債務	137	137
未払消費税等	20	81
未払費用	1,030	1,174
未払法人税等	60	56
賞与引当金	28	74
その他	155	186
流動負債合計	7,763	7,097
固定負債		
リース債務	211	143
繰延税金負債	716	772
退職給付引当金	2,640	2,550
長期預り金	505	486
資産除去債務	97	98
固定負債合計	4,170	4,051
負債合計	11,934	11,149
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,305	3,305
資本剰余金	3,659	3,659
利益剰余金	427	824
自己株式	△8	△9
株主資本合計	7,383	7,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95	201
その他の包括利益累計額合計	95	201
少数株主持分	107	101
純資産合計	7,585	8,082
負債純資産合計	19,519	19,231

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	12,519	12,321
売上原価	9,192	8,646
売上総利益	3,326	3,674
販売費及び一般管理費	3,534	3,430
営業利益又は営業損失（△）	△208	244
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	11
賃貸収入	126	115
その他	29	29
営業外収益合計	169	155
営業外費用		
支払利息	58	54
賃貸費用	41	31
その他	9	9
営業外費用合計	109	95
経常利益又は経常損失（△）	△147	305
特別利益		
固定資産売却益	－	151
投資有価証券売却益	2	－
特別利益合計	2	151
特別損失		
固定資産除却損	2	－
投資有価証券評価損	2	－
特別損失合計	5	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△150	456
法人税、住民税及び事業税	57	72
法人税等調整額	7	△19
法人税等合計	65	52
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△215	403
少数株主利益	4	6
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△220	397

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△215	403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	105
その他の包括利益合計	36	105
四半期包括利益	△179	509
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△183	503
少数株主に係る四半期包括利益	4	6

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△150	456
減価償却費	439	331
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△71	△89
賞与引当金の増減額（△は減少）	△13	45
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	△2
受取利息及び受取配当金	△13	△11
支払利息	58	54
投資有価証券売却損益（△は益）	△2	－
投資有価証券評価損益（△は益）	2	－
固定資産売却損益（△は益）	－	△151
固定資産除却損	2	－
売上債権の増減額（△は増加）	249	109
たな卸資産の増減額（△は増加）	62	32
前渡金の増減額（△は増加）	－	4
仕入債務の増減額（△は減少）	△157	△100
未払消費税等の増減額（△は減少）	△96	61
未払費用の増減額（△は減少）	157	143
その他	△34	△21
小計	432	861
利息及び配当金の受取額	13	11
利息の支払額	△57	△53
法人税等の支払額	△93	△275
営業活動によるキャッシュ・フロー	295	543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△93	△128
有形固定資産の売却による収入	－	1
有形固定資産の除却による支出	△0	△1
無形固定資産の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	85	－
賃貸固定資産の売却による収入	－	1,389
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13	1,254

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△402	△822
長期借入金の返済による支出	△40	△20
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△50	△65
長期割賦未払金の支払額	△10	－
自己株式の純増減額（△は増加）	△0	△0
少数株主への配当金の支払額	△25	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527	△920
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△244	883
現金及び現金同等物の期首残高	1,704	1,402
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,459	2,285

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

前第２四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日）及び当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）

当グループは、食品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。